



かいきげっしょく かんさつ 皆既月食を観察しよう



2026年3月3日(火)に、最初から最後まで条件よく見える「皆既月食」が起こります。前回は2025年9月8日で夜半過ぎから見られましたが、今回は19時前から見る事ができます。非常に良い条件ですので、これはもう見るしかないですね！

満月が完全に地球の影に入った「皆既」と呼ばれる状態になると、佐治のように星がきれいなところでは、満天の星が広がります。今回、皆既の時間は短いですが、星空にぽっかりと浮かぶ赤く暗い幻想的な月の姿もぜひ楽しみましょう。

☆今回の月食の見え方は？

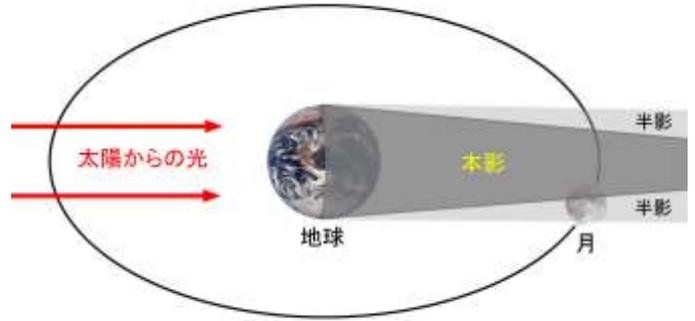
今回の月食が見られるのは18時50分ごろから22時17分ごろまでです。見え方は次のとおりです。

- ・ 18時 50分：月食の始まり。だんだんと満月が欠けていく。
- ・ 20時 4分：皆既月食の始まり。佐治では満天の星が広がる。
- ・ 21時 3分：皆既月食の終わり。月の明るく光る部分が、だんだんと増えていく。
- ・ 22時 17分：月食の終わり。みなさん、遅くまで観察、お疲れさまでした！



☆ げっしょく 月食ってなに？

月食は、満月が地球の影に入るために起きる現象です（右の図）。月食には次の3種類があります。



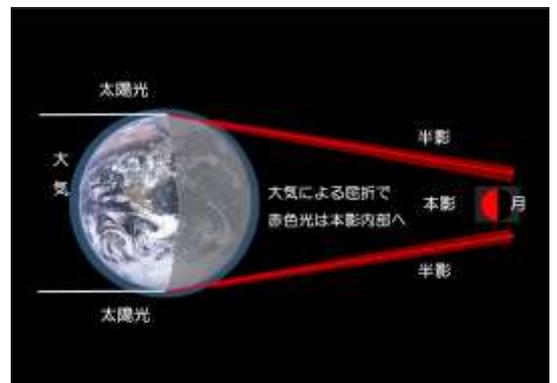
① **皆既月食**：月全体が地球の影に入る月食。月が明るさを失い、赤暗い月（よく赤銅色と表現されます）となります。

② **部分月食**：月の一部が地球の影に入る月食。

③ **半影月食**：地球の影のうち、とても薄い「半影」と呼ばれる影の中に月が入る月食。写真で見くらべると少し暗くなっているのがわかるが、目ではよくわからない。

☆ かいきちゅう 皆既中の月はなぜ赤い？

太陽の光が大気を通るときに屈折し、波長の短い青い光は散乱で弱まり、波長の長い赤い光が残ります。その残った赤い光が大気の屈折によって内側に曲げられ、月を赤く照らします。この赤い色は大気のちりの量によって変わり、火山の噴火によって火山灰が大気中にあると赤い色が濃くなります。皆既中の月の色にも注目して見ましょう。



☆ うちゅう 宇宙ふしぎ探検「皆既月食と満天の星空を見よう」

さじアストロパークでは、今回の皆既月食を観察するイベントをおこないます。スマートフォンなどをご持参いただくと、撮影もできます。また、満天の星に浮かぶ、幻想的な月の姿もぜひご覧ください。



日時：2026(令和8)年 **3月3日(火) 18:00~22:30**

- 18:00~18:45 月食について説明（1階会議室）
- 19:50~19:10 だんだんと月が欠けていく様子を観察（外の広場、4階）
- 19:50~20:30 皆既になる様子を観察（外の広場、4階）
- 20:30~20:40 食の最大を観察（外の広場、4階）
- 21:05~22:17 だんだんと月が戻っていく様子を観察（外の広場、4階）
- 22:30 イベント終了

参加費：一般(高校生以上)300円(入館料として)、中学生以下無料

その他：雨天曇天の場合、会議室で月食のお話や他施設の生中継ライブの鑑賞をおこないます。

日本公開天文台協会(JAPOS)
3月3日皆既月食キャンペーン
に参加

